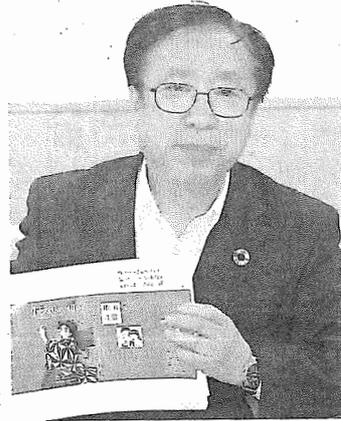


道文教大が出版会 学術書など刊行へ

北海道文教大出版会の書籍第1号となる「トシさんが行く!」のゲラを持つ渡部学長(恵庭市で)



出版不況と言われる中、北海道文教大(恵庭市)が学術図書や教科書の刊行などを行う「北海道文教大出版会」を発足させた。大学の研究・教育の成果を発表し、日本の学術・教育・文化の発展に寄与するのが目的という。

出版会は7月中旬に設立。会長は同大の渡部俊弘学長が務める。同大の前身は1942年に札幌の狸小

路近くに開校した北海道女子栄養学校。北海道栄養短期大を経て、99年に恵庭市黄金中央に校舎を置く北海道文教大を開学して、現在に至る。今年4月には付属高校も恵庭に移転させた。

同大出版会では、同大創設者の鶴岡トシ氏の生涯をまとめた書籍を第1号として9月中旬に発刊する予定だ。「トシさんが行く!」

(仮称)で、本を読まない学生にも親しんでほしいと7割は漫画仕立てで、3割は活字で記すという。

一般社団法人「大学出版部協会」によると、協会加盟の大学出版会は全国で26ある。非加盟も含めると大学出版会は50を超えるとみられる。道内では北海道大の出版会が定期的に良書を発刊し全国的に知られる。

北海学園大や小樽商科大、公立ほこだて未来大、函館大にも出版会がある。

道文教大出版会では、前身が栄養学校であったことにちなみ、年度内に食のレシピ本も発刊する計画だ。渡部学長は「社会的な要請も受けて、大学の出版会でいろいろな本を手がけていきたい」と抱負を話した。